

渋沢栄一 92年の生涯

全4巻

体裁：四六判・上製 定価：各巻本体2000円＋税 国書刊行会 新編集 「表紙絵」三村晴子

春の巻

三〇〇頁
ISBN978-4-336-07096-1

2020年12月22日

農家に生まれた渋沢は、一橋家に仕え、思いがけずフランスへ。パリにいる間に幕府は倒れた。一転して新政府で働き、近代日本経済の礎に身を粉とす。

秋の巻

三三六頁
ISBN978-4-336-07097-5

2021年2月22日

産業の礎を築き、未来社会の先導となり、道徳と経済の両立を目指し、教育と福祉に力を入れた。国を愛する一心と、利他の精神に貫かれていた。

夏の巻

三五二頁
ISBN978-4-336-07096-8

2021年1月22日

若くして大蔵省高官を退き、経済人として驚異的な働きをした。金融をはじめ、鉄道、海運、電気、ガス、通信、製紙、繊維、農業など次々に企業を立ち上げた。

冬の巻

三三六頁
ISBN978-4-336-07096-2

2021年3月22日

教育支援には特に力を尽くした。どんな人にも上下なく接し、渋沢と会った人は同じように笑みを浮かべていた。諸外国との関係、親善もこれと同じであった。

農民の家に生まれた渋沢栄一は、幕末、一橋家に取り立てられる。民部大輔（橋昭武）に随い万博の開催地パリに赴き、最新知識を貪欲に学ぶ。倒幕の知らせで急ぎ帰国。新政府から声がかかり、大蔵省高官となり、銀行法など新制度をつくり上げる。若くして民に転じ、経済人として、銀行をはじめ鉄道、海運、電気、ガス、農業と牧畜、そして商業会議所等、企業や団体を次々に立ち上げ、采配に關つた。産業の基礎を築き上げると、「論語と算盤」―道徳と経済の両立―を求め、教育と社会事業に取りかかり、東京商科大学（現・一橋大学）、早稲田大学、日本女子大学、二松学舎大学などの設立に深く関わる。また理化学研究所、癌研究所の設置、聖路加国際病院、東京慈恵医大病院、日本赤十字社など、病院や福祉施設の設立にも尽力した。

本書の特徴

- 一、旧字・旧仮名を新漢字・新仮名に改めた。
- 二、難字にルビをふり、難解な表現などには意味を（ ）で補った。
- 三、原本の「渋沢栄一子爵は」「子爵は」の表記は、「渋沢栄一翁は」「翁は」と改めた。
- 四、登場人物の年齢表記は、原本の教え歳表記を踏襲した。
- 五、海外の国名や地名などの漢字表記の一部を、カタカナ表記に改めた。
- 六、原本の全一巻全六篇の構成を、四巻に分冊、書名を「渋沢栄一 92年の生涯」と改めた。
- 七、今日、人権上の観点から不適切と考えられる表現については、歴史的史料としての価値に鑑み原本通りとした。

NHK大河ドラマ 第60作目
「青天を衝け」
主人公渋沢栄一の
激動の物語!

渋沢の秘書として二十年の歳月を教え導かれたことは、稀な仕合せと言わねばなりません。私が翁の生涯記を書いていることを知ると、「偉人ではない、ただの渋沢をありのままに書いて貰いたい」というのでした。どこにも秘密がありませんでした。

著者 白石喜太郎

- 春の巻
- 夏の巻
- 秋の巻
- 冬の巻



渋沢栄一 92年の生涯

渋沢栄一 自ら筆を入れた唯一の伝記

全4巻

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 Tel.03-5970-7421 Fax.03-5970-7427
https://www.kokusho.co.jp e-mail:info@kokusho.co.jp

帳合・書店印

「渋沢栄一 92年の生涯」

- 春の巻 (部)
- 夏の巻 (部)
- 秋の巻 (部)
- 冬の巻 (部)

を申込みます。

お名前 電話

ご住所

申込書

春の巻

序…… 渋沢敬三

序に代えて 白石喜太郎

一、前記
商才の片鱗
理知のひらめき

二、少年時代
暴拳計画 (24歳)
暴拳中止
京洛放浪
平岡四郎の推挙

三、志士時代
暴拳計画 (24歳)
暴拳中止
京洛放浪
平岡四郎の推挙

四、橋樑時代 (26歳)
歩兵取り立て
兵備充実の建議
歩兵募集の苦心
経済的貢献
長州征伐

五、幕府時代 (27歳)

六、身辺
フランス時代 (27歳)
マルセイユまで
パリに着いて

七、フランス時代 (27歳)
各国歴訪 (ベルギー、イタリア、イギリス)
留学準備
帰朝の決意
フランスを後にして
帰朝 (28歳)
・静岡へ
・謹慎恭順の徳川慶喜

八、静岡時代 (29歳)
商法会所の創設

九、大蔵省時代 (29歳)
大隈重信の長広舌

西欧文化への憧憬

藩閥

井上馨の大蔵省

廃藩置県

西郷の戦争論

廃藩置県と藩札整理

征台反対

大蔵当局として

退官 (33歳)

大隈、井上、伊藤

私生活

父・晩香の長逝 (33歳)

袖田に住みて

夏の巻

一、実業的活動の総本部
第一国立銀行の誕生 (33歳)
古河市兵衛

二、社会人としての活躍の基礎
東京市養育院の誕生
第一国立銀行の成長

三、実業界の基礎工事 (34歳)
王子製紙会社
手形交換所
商業会議所

「日本組織」の主張
日本郵船会社
海運業の黎明
海の王者三菱との対抗
・日本郵船会社成る
・ボンベイ航路開設

日本鉄道会社
東洋紡績会社
東京海上保険会社
北海道炭礦鉄道会社

秋の巻

一、転機 (67歳)

二、渡米実業団
国民外交
輪上の家
乗用自動車の想い出
大統領タフト
伊藤博文の死

三、除外例
帝国劇場
大日本製糖会社
明治製糖会社

四、農業と牧畜
十勝開墾会社
三本木農場
奥箱根の開発

五、教育
日本女子大学校
早稲田大学
中央社会事業協会
救世軍

六、社会事業
修養団
湯島聖堂復興
論語会
二松学舎
陽明学会

七、漢学

八、対外関係
日米同志会
日清汽船会社と東亜興業会社

九、対外関係
日米同志会
日清汽船会社と東亜興業会社

冬の巻

一、報効会
二、対外関係
連合国傷病兵罹災者慰問会
「ヘボン」講座」と「聖路加」
日華実業協会 国際連盟協会
世界日曜学校後援会 日米船鉄交換仲裁人

三、陸路 (80歳)
世界日曜学校後援会 日米船鉄交換仲裁人

四、四度太平洋を渡りて
理由書

五、生活改善の標本
金門迎得太平洋

大日本麦酒会社

大日本人造肥料会社

東京石川島造船所

東京瓦斯会社

東京電灯会社と電話民営

帝国ホテル

日本瓦斯製造会社

尾尾銅山

浅野セメント会社

佐々木勇之助氏

四、社会人としての活動
商法講習所
東京女学館
東京慈恵会
竜門社
報国会

五、家庭
母・梅光院の死去 (34歳)

六、危難
東京市水道鉄管事件
癌

七、朝鮮開発
第一銀行の組織改正と朝鮮進出
朝鮮訪問
朝鮮訪問
京釜鉄道会社

八、授爵の恩命 (60歳)
政界入りの勧誘 (60歳)
伊藤博文の政党組織
井上流産内閣

九、授爵の恩命 (60歳)
政界入りの勧誘 (60歳)

十、授爵の恩命 (60歳)
政界入りの勧誘 (60歳)

十一、授爵の恩命 (60歳)
政界入りの勧誘 (60歳)

十二、授爵の恩命 (60歳)
政界入りの勧誘 (60歳)

六、大震災 (83歳)
大正十二年九月一日
大震災善後会
帝都復興審議会

七、子爵を凝視して
世間の父
聖なる後姿
故山への憧憬

八、排日移民法
決議まで
辞せぬ覚悟

九、日仏会館 (84歳)
製鉄調査委員会
日本無線電信会社
復興建築助成会社

十、世話業
製鉄調査委員会
日本無線電信会社
復興建築助成会社

十一、社会公共事業
修養団後援会 寛永寺、浅草寺、その他
日本放送局 楽翁公遺徳顕彰会
パチエラー学団後援会 如水会

十二、対外関係
タウンゼント・ハリス遺蹟保存会
グラント植樹記念碑
日本国際児童親善会
太平洋問題調査会

十三、瀨予防協会
救護法の実施

十四、救護法の実施
寂しさ増さる後姿

十五、米寿祝賀会 (88歳)

十六、米寿祝賀会 (88歳)

十七、米寿祝賀会 (88歳)

十八、米寿祝賀会 (88歳)

十九、米寿祝賀会 (88歳)

二十、米寿祝賀会 (88歳)